

○ 6月11日（金） 晴
立石寺（山寺） ～ 仙台 ～ 帰宅

道の駅「雄勝」の朝が明けた。

5時半起床、よく寝た。

外は晴 もう陽が高く太陽が眩しい。

気温が高く暑いくらいだ。

広い駐車場には数台の車しかない。

昨日は神室山で体を酷使したので、身体中が痛い。目的としてきた早池峰山のヒメコザクラと神室山のキヌガサソウの二つとも目的が達成できて、今日は帰るだけなのでのんびりと朝食をとった。



ここは秋田県雄勝町にある道の駅おがち「小町の郷」。名前にあるように小野小町生誕の地だそうだ。（ちょっと待った！我が家の近くの厚木市小野も小野小町出生の地と云われており、小町山の上に小町神社と小町塚がありますよ。調べてみると小野小町の生誕地は北は秋田から南は熊本まで全国に沢山点在しているそうだ。最も有力なのが秋田の湯沢らしい。）そんなわけでこの道の駅の隣には「小町公園」と称する広い公園ができています。

食事のあと腹ごなしに公園の中を散歩した。雄勝は美人の形容に使われるシャクヤクの栽培に力を入れているのか、公園の入り口にはシャクヤクが植えてあって今まさに満開だ。



芝生の公園広場には一周する歩道があり、歩道の脇には所々

に平安時代を模した朱色の建物が建っているだけのシンプルな公園だ。筋肉痛で痛い足を引きずって、ゆっくりと一周した。

さらに道の駅の裏手にはかなり広いシャクヤクの庭園があり有料で入場できるが、外からも十分よく見えるので外から観賞させていただいた。ちょうど満開でよく咲いていた。ただもう少し工夫して整備すればいいのと思うほど、統一性のない素朴なシャクヤク園だった。



今日は 15 時過ぎに仙台の友人のところに寄ってから、東北自動車道に乗って帰宅する予定だ。散歩から戻って車の中で「さてこれから 15 時仙台までどうしようか」と地図を広げ眺めていたら、天童市の立石寺（山寺）が目にとまった。立石寺は芭蕉の俳句「しずけさやいわにしみいる せみのこえ」で余りにも有名だが、私はまだ行ったことがない。天童市はここから仙台へ行く道の途中にある。「よし立石寺に行ってみよう」と決めた。

道の駅「おがち」を 9 時に出て、国道 13 号（羽州街道）を天童へと南下した。新庄市、尾花沢市と通過して天童市へ 11 時前に着いた。道は大きな渋滞もなく順調に流れていた。ちょうど道の駅「天童温泉」があったので、駅に寄って一休みした。

天童市の西隣はサクランボで有名な寒河江市だ。というより山形県のこの辺り一体はサクランボの一大産地で天童市でもサクランボ畑がいっぱいある。道の駅の売店ではサクランボがずらりと並べられている。我が家とこれから伺う仙台の友人へのお土産に購入した。

立石寺はここから近くにあり、すぐについた。寺の入口のすぐ前まで車を入れて、お土産屋の駐車場に車を止めた（300 円）。シーズンだったらたぶん車が混雑していてこんな門前までは入れなかつたろう。今日も天気が良く風もない、真夏を思わせる太陽が照りつけ、湿度も高くて蒸し暑い。ここから奥の院まで1000 段以上の石段を登るらしい。標高差は160m余になる。サブザックに水と菓子パンを入れ、スニーカーに履き替えて、昨日の神室山の筋肉痛とこの蒸し暑さに耐え、さあ出発。参拝者は殆どが軽装のカップルの老若男女だが、チラホラしかいない。



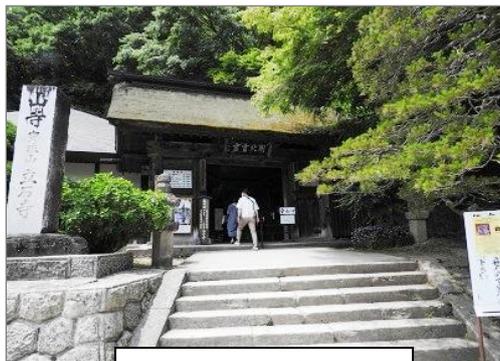
石段を登り、まず正面にある根本中堂にお参りした。



まず石段を上る



根本中堂にお参り

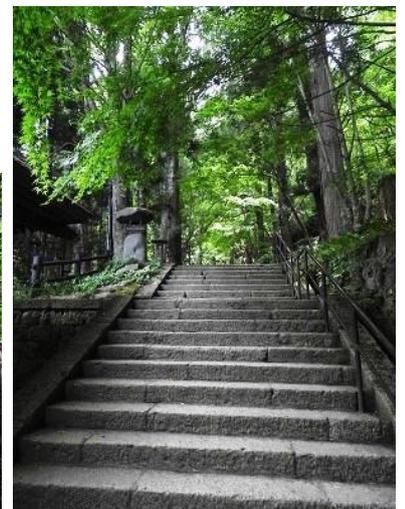


山門で入山料を払う

少し歩くと山門がありここで入山料 300 円を払ってよいよ登山道に入る。

ここから1000 段以上ある石段登りが始まる。

芭蕉の句「閑かさや 巖にしみ入る 蝉の聲」にうたわれた通り、鬱蒼とした杉の大木に覆われた山寺。実に静かでありそして涼しい。



途中「蟬塚」「弥陀洞」「仁王門」などを通り「五大堂」から下界の景色を眺めた。鬱蒼とした木々に包まれた岩山に作られた立石寺の全貌がうかがわれる。



約 40 分で奥の院（標高 430m）に着いた。大仏殿の大仏様にご挨拶して下山した。



足の筋肉痛も気にならず 1000 段余の石段を上り、下り、静かな立石寺をお参りすることができた。始めて来たが良い寺だった。

13 時半に立石寺を後にして国道 48 号線を仙台へと向かった。ここから仙台へは一本道、車の流れに従ってのんびりと走ったが、仙台に入ってくると、さすがに東北の大都市だけあって、車が多く信号がやたらと増えてきて流れが悪く、多少イライラした。それでもほぼ予定通り 15 時 30 分に泉区の友人宅へ着いた。毎年の北海道・東北の花旅の帰りにはよく訪ねているが、昨年はコロナ禍で寄れなかったのが 2 年ぶりだな。ご夫妻二人とも元気な顔で迎えてくれた。冷たい飲み物とお菓子をいただきながら、今回の花旅の話や、よもやま話に時間が過ぎ、17 時に友人宅を失礼して道の駅・村田へ向かった。高速道路の深夜割引を利用するため、道の駅・村田で夕食をとりながら時間の調整をする予定だ。18 時前に道の駅に着いた。以前この駅に泊まったことがあるが、その時は台風に会い暴風雨の中だったことが懐かしく思い出された。その時はこの駅の様子がよくわからなかったが、今日はまだ明るいし天気の良いのでいろいろ探ってみた。駐車場が 2 段、2 か所に分かれていて、上の駐車場に売店とレストランがあった。レストランで食事でもしようかと思ったら、18 時閉店ということでシャットアウトを食らった。仕方なく手持ちの食材で寂しく夕食をとった。

これで今回の東北花紀行はほぼ目的を達成してすべて終了。あとは目の前に村田 IC から東北自動車道路に入って一路我が家目指して帰るだけとなった。

18 時過ぎ村田 IC を入り東北道を走ったが、車がほとんどいなかった往路とは違い、この復路は時間帯が違うためか金曜日の夜ということだからか交通量がかなり多い。特に大型トラックが切れ目なく走っている。みんなかなりスピードを出しているので、トラックの後について走ってゆくが、遅いトラックは追い越さなければならず、かなり緊張しながら夜の高速を走ることになった。途中何回か SA で休憩をとりながら、久喜白岡で圏央道に入り八王子を通過して予定通り厚木 IC を 0 時半に降りて我が家に無事到着した。

家では朋子が起きて待っていてくれた。

明日は土曜日なのでゆっくりできる。シャワーを浴びてチューハイを一缶あけて寝た。